

ご参考資料

2019年5月22日

日本製粉株式会社 https://www.nippn.co.jp

目次

1.	製粉業界の基礎知識	•••	P3	14.	事業内容	··· P26
2.	製粉業界の現状 (1)~(5)	• • •	P4	15.	製粉事業	••• P27
3.	麦価改定ルール -外国産小麦-	•••	P9	16.	食品事業	••• P28
4.	小麦粉の価格が変動する要因としくみ(1)~(4)	•••	P10	17.	その他事業	••• P29
5 .	国内の麦価 (1)~(2)	•••	P14	18.	海外事業	••• P30
6.	ふすま市場の現状 (1)~(2)	•••	P16	19.	コーポレートガバナンス	··· P31
7.	経営環境 貿易自由化の試み	• • •	P18			
8.	小麦の栽培暦	• • •	P19			
9.	日本製粉㈱ 会社紹介	• • •	P20			
10.	日本製粉グループの概要	• • •	P21			
11.	沿革	• • •	P22			
12.	主要な事業拠点	• • •	P23			
13.	経営成績の推移(1)~(2)		P24			



製粉業界の基礎知識







製粉業界の現状

麦制度の改定 -外国産小麦-

小麦粉の価格が変動する要因としくみ

国内の麦価

ふすま市場の現状

経営環境

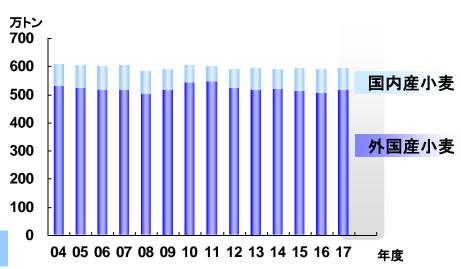
小麦の栽培暦



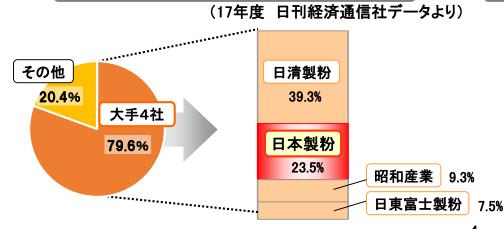
製粉業界の現状(1)

製粉企業数と工場数

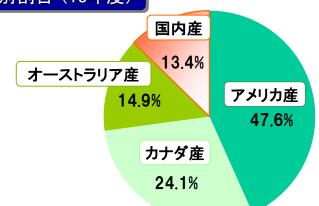
国内製粉用小麦加工数量の推移



製粉業界シェア



原産国別割合(18年度)

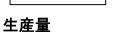




製粉業界の現状(2)

流 通 本 Ξ == 内 小 麦 の の

国内産



約77万トン(30年度)

小麦作付農家数 約4.3万戸

産地協議会

生産者・実需者・普及組織・市町村、 等が参加し、品質向上・生産コスト低 、減等の目標設定とその取組を推進

外国産



国家貿易 により国が

一元輸入

総輸入量 約496万トン



アメリカ 約251万トン



カナダ 約159万トン



オーストラリア 約86万トン

民間流通連絡協議会

生産者団体と実需者が共催で情報 交換・民間流通取引の仕組みを決定

民間流通

入札取引 約3割 相対取引 約7割



玉

- 国内産で不足するもの及 び品質的に国内産麦が使用 できないものを輸入
- 外国産麦からの輸入差益 を原資として国内産麦の助成 に充当



製粉企業

(81社)



需要量 約566万トン

> しょうゆ 企業等





需要量 約10万トン



消

製パン企業・製めん企業・ス-

外食産業等

費

者





(農林水産省「麦の需給に関する見通し」等による)

販売

製粉業界の現状(3)

小麦粉の種類と用途

		強力粉	準強力粉	中力粉(普通粉)	薄力粉	デュラム・セモリナ				
蛋白質の含有量		11.5~13.0%	10.5~12.5%	7.5 ~ 10.5%	6.5~9.0%	11.0~14.0%				
主に使用される		ダーク・ノーザン・ スプリング(DNS)	ハード・レッド・ウィ ンター(HRW)	スタンダード・ ホワイト(ASW)	ウェスタン・	デュラム (DPM)				
原料	小麦の種類	ウェスタン・レッド・ スプリング(1CW)	プライムハード (PH)	国内産小麦	ホワイト(WW)	(DRM)				
	銘柄	DNS 1CW	HRW PH	ASW	ww	DRM				
	パン粉	食パン	食パン 菓子パン フランスパン他	うどん ひやむぎ、そうめん ビスケット	カステラ ケーキ 和菓子	スパゲッティ マカロニ				
<u> </u>	めん粉		中華麺	和菓子	天ぷら粉 ビスケット					
主な用途	菓子粉		THE WASHINGTON	(C) 73						
途	家庭用									
	工業用	焼ふ、か	りんとう、グルテン、で	駄菓子、製糊						
	その他	焼接着剤(工業用)、飼料用								

製粉業界の現状(4)

小麦粉生産の内訳

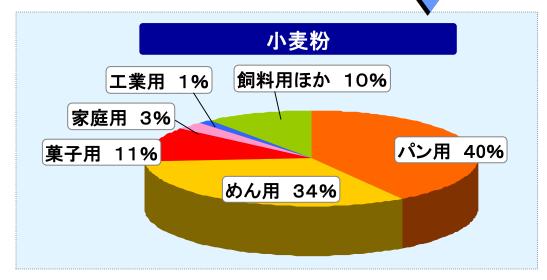


約600万トン (一人当り小麦粉年間消費量≒33.0Kg)

> 小麦粉 約80% ふすま 約20%



原料穀物サイロ



ふすま(飼料用)







製粉業界の現状(5)

日本の農業の現状~麦制度改革の背景

① 食料自給率の低下

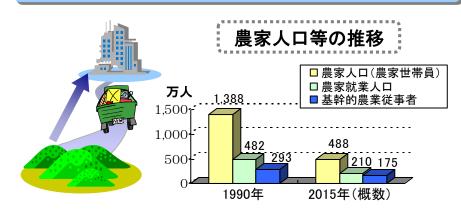
1990年

2017年

主食用穀物自給率 67% → 59% 供給熱量総合食料自給率 48% → 38%



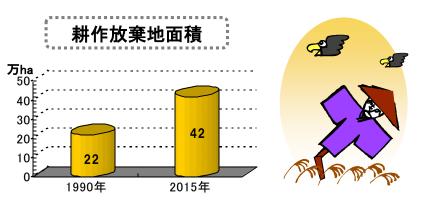
② 農家の人口減少



③ 農家の高齢化進行

年齢階層別基幹的農業従事者数割合 26.8% 4.9% 30.5% 39歳以下 40~64歳 65歳以上

④ 耕作放棄地の増加



資料:農林水産省「農林業センサス」



麦価改定ルール ー外国産小麦ー

政府買付価格(変動)

・過去6ヵ月(※)の加重平均価格

毎月発表

(※) 過去6ヵ月:4月改定の場合は前年9月~当年2月 10月改定の場合は当年3月~当年8月



マークアップ

年間固定

·内麦助成金充当分+管理経費



港湾経費

年間固定

•吸揚料等



最終決

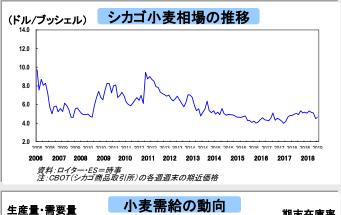
政府売渡価格 (2019年4月1日以降)

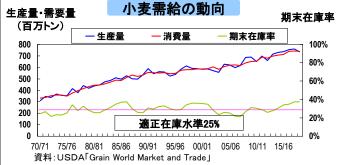
54,630円/トン

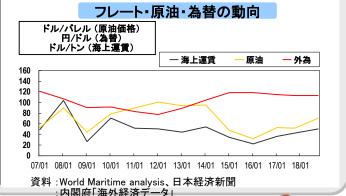


政府売渡価格 (2018年10月1日以降)

55,560円/トン

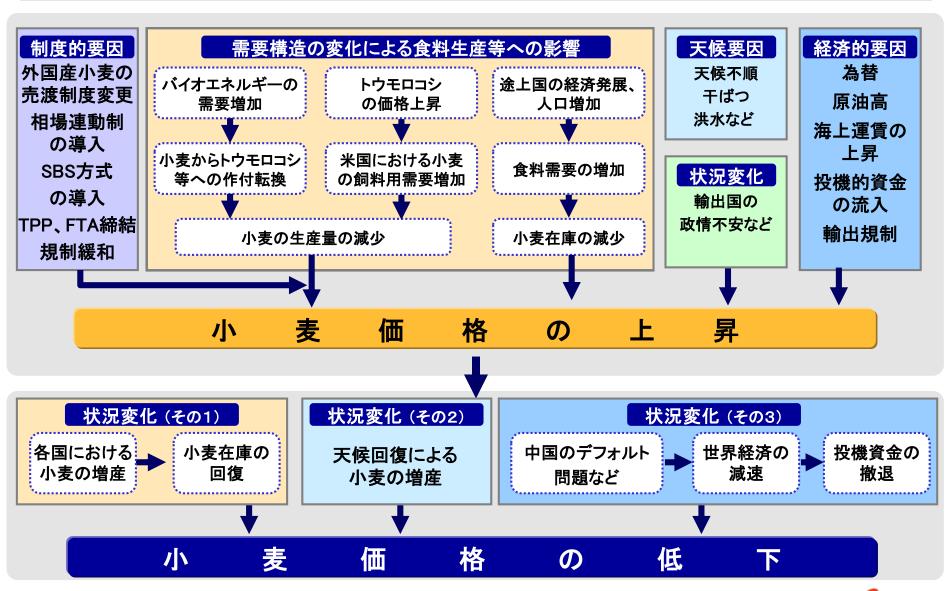






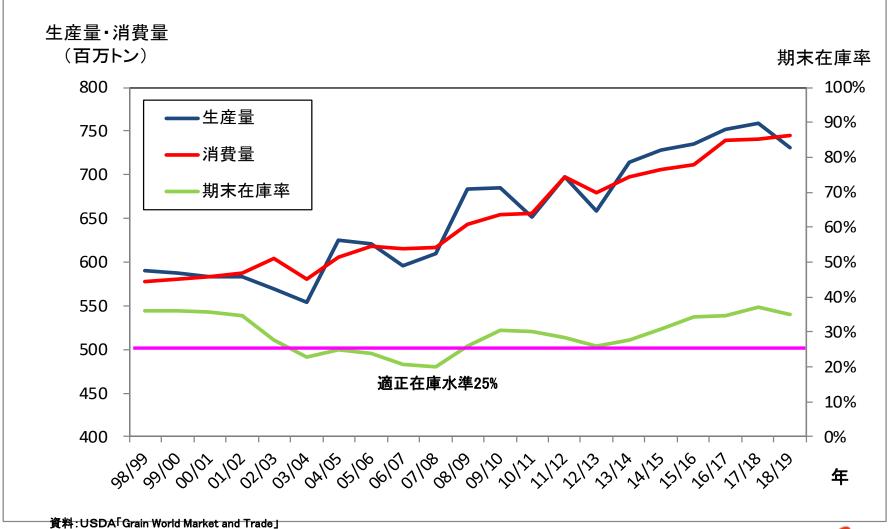


小麦粉の価格が変動する要因としくみ(1)



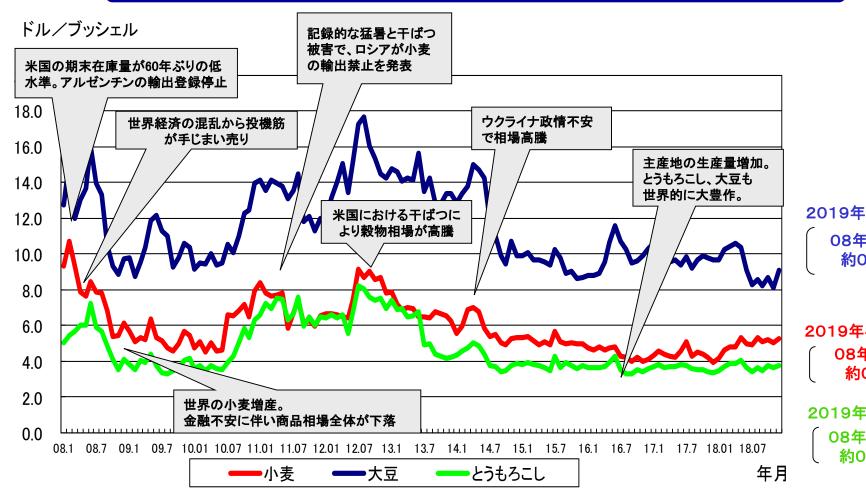
小麦粉の価格が変動する要因としくみ(2)

世界の小麦需給の動向



小麦粉の価格が変動する要因としくみ(3)

シーカーゴ 相 場 の 推 移



2019年4月 8.81

08年4月対比 約0.68倍

2019年4月 4.44

08年4月対比 約0.56倍

2019年4月 3.59

08年4月対比 約0.60倍

注:価格は、各月最終週末の期近価格

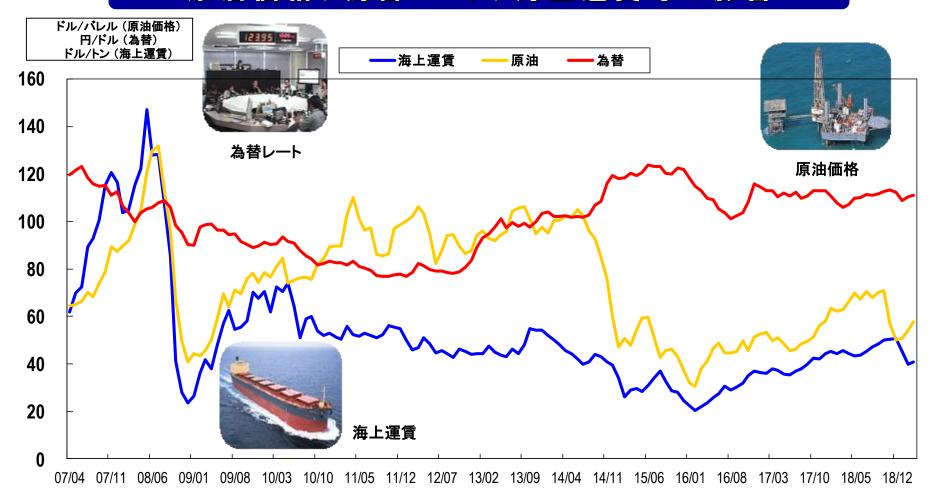
注:1ブッシェルは、小麦・大豆は約27.2kg、とうもろこしは約25.4kg

資料:シカゴ商品取引所



小麦粉の価格が変動する要因としくみ(4)

原油価格、為替レート、海上運賃等の影響



資料:ロイター・ES=時事

:内閣府「海外経済データ」よりWTI(米国ウエスト・テキスト・インターミテ・ィエート)

: World Maritime Analysis、日本経済新聞



国内の麦価(1)

外国産小麦政府売渡価格

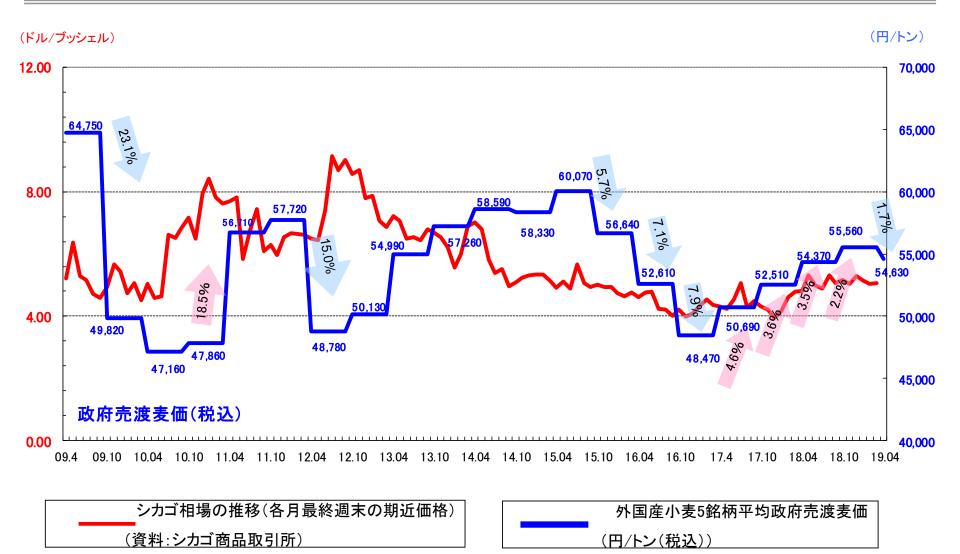
円(税込)/トン

期間	~ 07年3月	07年4月 ~07年9月	07年10月 ~08年3月	15年4月 ~15年9月	15年10月 ~16年3月	16年4月 ~16年9月	16年10月 ~17年3月	17年4月 ~17年9月	17年10月 ~18年3月	18年4月 ~18年9月	18年10月 ~19年3月	19年4月 ~19年9月
5銘柄平均	47,820	48,430	53,270	60,070	56,640	52,610	48,470	50,690	52,510	54,370	55,560	54,630
5銘柄平均 前回比増減率	_	+1.3%	+10.0%	+12.8%	▲ 5.7%	▲ 7.1%	▲ 7.9%	+4.6%	+3.6%	+3.5%	+2.2%	▲ 1.7%
※5銘柄平均 価格指数	100	101.3	111.4	125.6	118.4	110.0	101.4	106.0	109.8	113.7	116.2	114.2

※5銘柄平均価格指数・・・2007年3月以前の価格を100とする



国内の麦価(2)

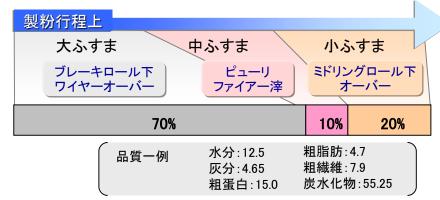




ふすま市場の現状(1)

ふすまとは?

小麦の外皮のこと



* 品質については製粉各社の品質管理により多少差がある

ふすまの特性

- ①小麦粉製造の副産物
 - ・小麦粉を製造すれば必然的に20%程度発生する副産物
- ②相場商品
 - ・飼料原料(輸入穀物)やフレート・為替の 相場に影響を受ける
- ③生産地と消費地の乖離
 - ・ふすまは小麦粉の生産地 (大消費地である大都市圏)で作られる
 - ・ふすまは畜産が盛んで、配合飼料工場も 多い北海道・九州地域で多く消費される



ふすまの需給

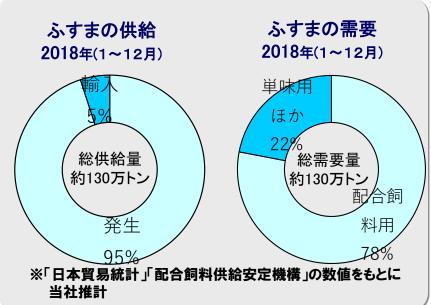
·ふすまの供給: 国内の製粉工程から発生するものと輸入されて

くるものがある

·ふすまの需要: 主な用途は飼料です。

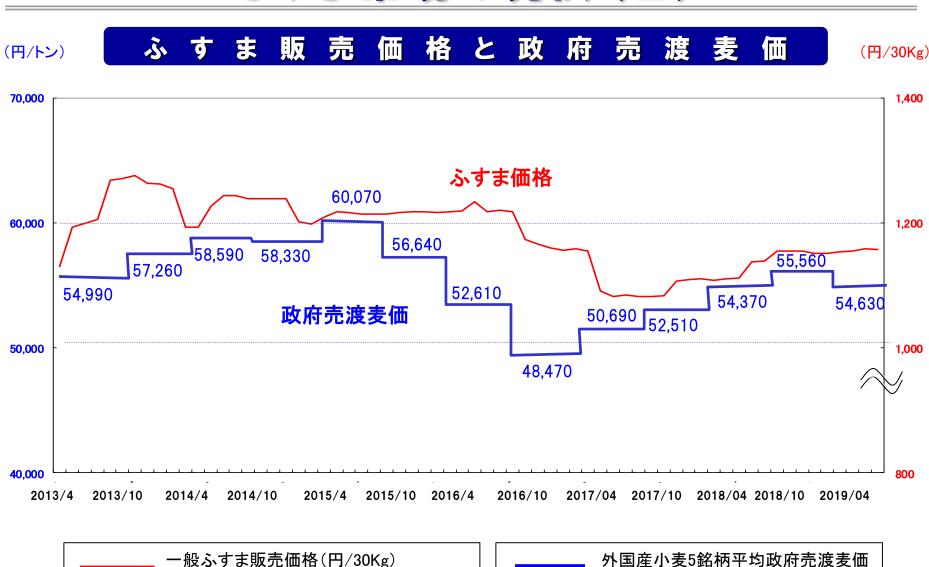
配合飼料用(複数の飼料原料をブレンドする) としてのほかに、単味用(飼料用としてそのまま販売されるもの)、培地用(きのこ栽培や酵素

製造に利用)がある。





ふすま市場の現状(2)





(農林水産省統計部「農業物価統計」より)

(円/トン(税込))

経営環境 貿易自由化の試み

WTO、FTA(EPA)、TPPの違い

関税削除交渉

WTO

例外的措置

(世界貿易機関)

- ・159カ国・地域が加盟
- ・加盟国共通のルールづくり (関税削減率。国内補助金 の削減、輸出補助金の撤廃)

多様な農業の共存 矛盾 例外なき関税撤廃



関税撤廃交渉

- FTA(自由貿易協定) EPA(経済連携協定)
- ・2国間または複数国間で行う 関税撤廃・ルール統一交渉
- ・「実質上すべての貿易(一般 的には90%以上と解釈)に ついて、原則として10年以内 の関税撤廃」とガット第24条 で規定

TPP(環太平洋連携協定) 太平洋をとりまく11カ国間のFTA

- ・11カ国で行う関税撤廃・ルール統 一交渉
- ・除外・例外品目を認めず、全品目 の関税を撤廃
- ・様々な分野の制度・仕組みを統一

TPP交渉参加国(11カ国)

- ・オーストラリア ・ペルー
- ・シンガポール ・日本
- ・ニュージーランド
- ・マレーシア -チリ
- ・ベトナム ・ブルネイ
- ・メキシコ ・カナダ

製粉事業への影響

①小麦、小麦関連品の関税率の削減率、 削減時期の決定

現状の関税率

•小麦

55円/Kg

•小麦粉

90円/Kg

•小麦粉調製品

16~28%

・パスタ

約30円/Kg

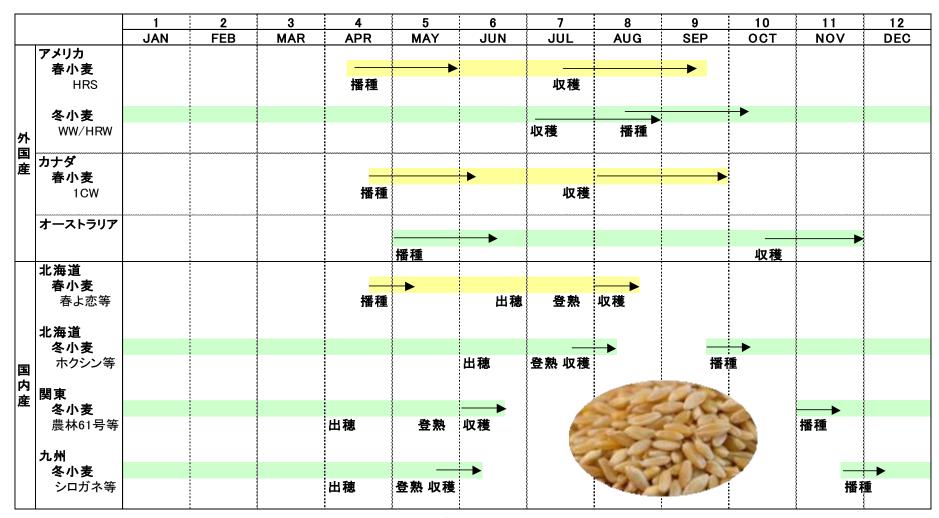
・ビスケット

13~15%

② 経営所得安定対策制度(食料自給率目 標を前提に国、都道府県及び市町村が 策定した「生産数量目標」に即して主要農 産物の生産を行った販売農業者に対して、 生産に要する費用と販売価格との差額を 交付)(旧戸別所得補償制度)



小麦の栽培暦



- ・春小麦・・・春に種子を播いて夏から秋に収穫するタイプ
- ・冬小麦・・・秋に種子を播いて翌年の夏に収穫するタイプ



日本製粉㈱、会社紹介





















日本製粉グループの概要

沿

革

主 な 事 業 拠 点

経営成績の推移

事 業 内 容

製 粉 事 業

食 品 事 業

その他事業

海 外 事 業

ガバナンス



日本製粉グループの概要



●会社名: 日本製粉株式会社

●設立: 1896年12月

●資本金: 12,240百万円

●企業数: 子会社(62社)及び関連会社(25社)

内、連結子会社(47社)及び持分法適用会社(14社)

●従業員数: 日本製粉 1,141人

連結ベース 3,687人

(2019年3月末現在)

企業理念 (抜粋) 顧客満足の増大

従業員の幸福 と自己実現 持続的成長の実現

社会との共生



沿革

経営の歴史

合併により拡大を加速

創業当初から昭和初期まで、日本製粉は大規 模な合併を繰り返し、事業を拡大。日本のみな らず、中国大陸を中心に、海外へも進出。

123年の歴史

平成

明治

大正

昭和

1913年(大正2年): 1896年(明治29年):

最新の機械式 小麦製粉で創業 そば粉の製粉開始



1896年 (明治29年) 日本製粉株式会社設立

1897年(明治30年) 製品販売方法の革新



製造者名と品質・等級を 明示して販売メーカー主導 による特約店制度の採用

(*) 蛻変(ぜいへん) とは・・・ 蝉の幼虫がさなぎになり羽化して 成虫になっていく様。その都度 脱皮を繰り返し大きく形を変えて いくことからこう呼ばれる。

事業多角化の歴史

食品事

戦後は事業拡大と技術革新を進め、 多角化による企業再構築により業容拡大して現在に至る。

ぜいへん(*)

「蛻変的業態転換」を

繰り返し事業を拡大

1959年(昭和34年): プレミックス事業に参入



1969年(昭和44年):コーンの製粉開始

1975年(昭和50年): 米の製粉開始

2013年(平成25年): ナガノトマトと資本提携

加工食品

1955年(昭和30年):

オーマイカットマカロ二発売

2003年(平成15年):

大豆へ進出 (オーケー食品と提携)

冷凍食品



1973年(昭和48年): クリームコロッケ発売

中食

1991年(平成3年): 中食事業参入



1969年(昭和44年): ファミリージャーム発売 (ヘルスケア事業)



1989年(平成元年): 家庭用ペットフード事業 本格化





主要な事業拠点



海外拠点

アメリカ

PASTA MONTANA, L.L.C.

パスタの製造・販売等

NIPPN California Inc.

北米市場におけるアジア食品食材の販売



天津全順食品有限公司

プレミックス製造・販売

上海日粉食品有限公司 プレミックス製造・販売

上海金山日粉食品有限公司 プレミックス製造・販売

タイ NIPPN(Thailand)Co., Ltd.

プレミックス製造・販売

Nippon Flour Mills(Thailand)Ltd.

プレミックス販売

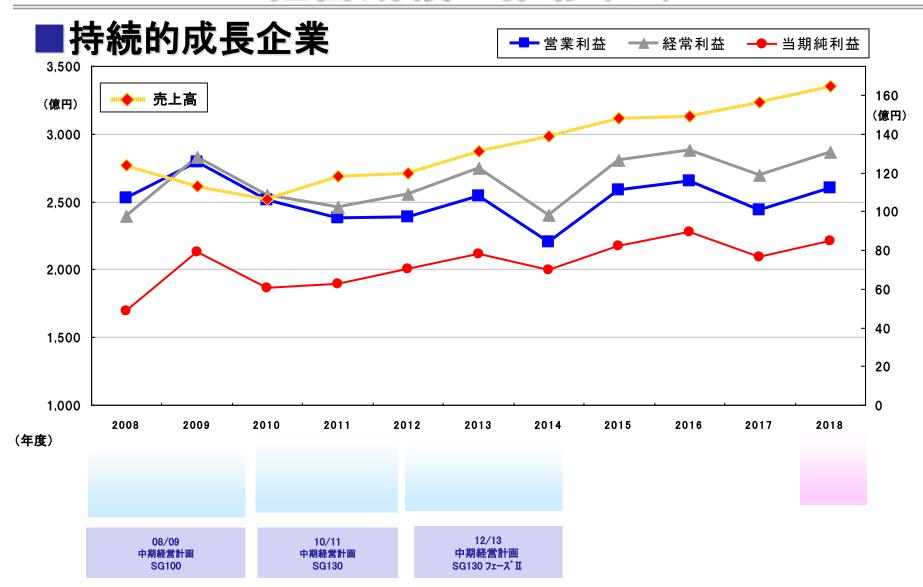
インドネシア

PT. NIPPN FOODS INDONESIA

プレミックス販売



経営成績の推移(1)

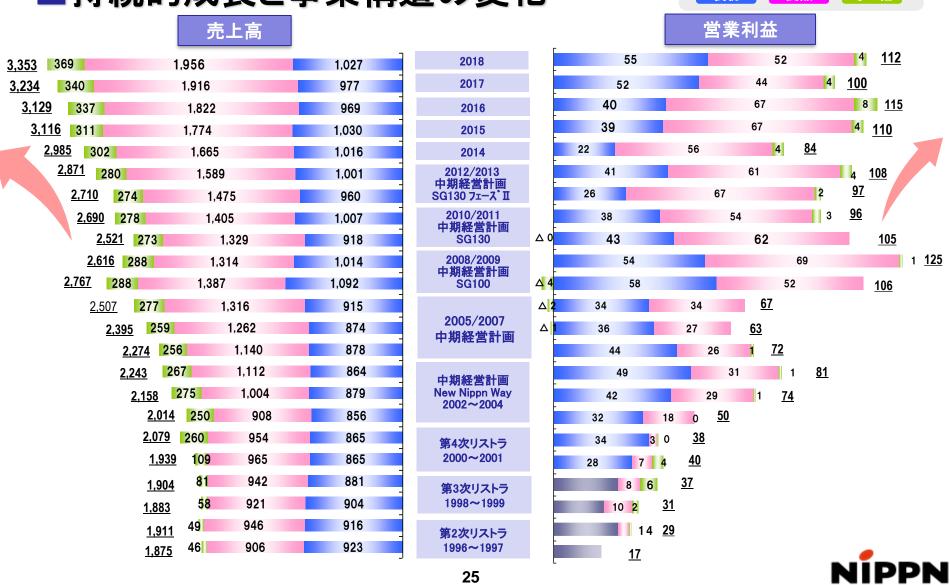


経営成績の推移(2)

(単位:億円)

その他

■持続的成長と事業構造の変化



事業内容

2018年度売上高構成比

連結子会社 持分法適用会社

47社 14社

パンの花 バイオ事業 スポーツクラブ 健康食品ペットフード 化粧品

その他事業 369億円







中食

11%

売上高 3,353億円 製粉事業 1,027億円 業務用小麦粉



食品事業 1,956億円

冷凍食品

58%

食材

31%

加工食品











製粉事業

2018年度 売上高模成比

31%

製粉事業

1,027億円

3 包装、保管

製粉工場の特長:

小麦入港

装置産業、大量生産、多銘柄生産、連産品、素材産業、原料の国家管理

製粉の作業工程

2 陸揚げ

4 精選工程 6 品質チェック

製粉工程

バラ出荷

小麦粉の種類と用途

品質調整

		強力粉	準強力粉	中力粉(普通粉)	薄力粉	デュラム・セモリナ	
主な用途	パン用粉 めん用粉 菓子用粉 家庭用	食パン	食パン 菓子パン フランスパン他 中華麺	うどん ひやむぎ、そうめん ビスケット、和菓子	カステラ、ケーキ和菓子、天ぷら粉ビスケット	スパゲッティマカロニ	
	工業用	焼ふ、か	いりんとう、グルテン、でんぷん				
	その他	接着剤(工業用)、飼料用					

58%

食品素材事業

プレミックスを中心とした業務用素材

大手ドーナツチェーンへ納入



冷凍食品事業



加工食品事業

パスタを中心とした家庭用食品群





原料・製法にこだわったREGALOシリーズ

定番のオーマイパスタシリーズ

食品事業

1,956億円

(2018年度売上高実績)

冷凍パン生地・ パイ生地









簡単・便利・健康 特徴ある商品

中食事業

コンビニ向けお弁当の製造

中食市場にあらゆる業務用食材を供給



得意分野に特化した商品群

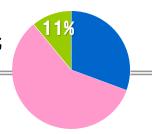
人気の冷凍パスタ・お弁当シリーズ





その他事業

2018年度 売上高模成比



少子高齢化ヘシフトする社会をビジネスチャンスに

健康食品



アマニ油



サプリメント

有用性食品素材

食品、飲料、サプリ、化粧品へ供給拡大



パミス



セラミド

その他事業 369億円

(2018年度売上高実績)



リグナン

自然化粧品 機能性化粧品

安全志向、自然志向 機能性志向の高まり にタイムリーに対応





<u>セラミド配合のアンチエイジングケアシリーズ</u> ローション エッセンス クリーム

パンの花

余暇の多様化
NIPPNグループの
文化事業パンの花教室
「ジュンコ・フローラ・
スクール」を展開



パンの花 (ジュンコ・フローラ・スクール)

ペットフード

ペットは家族 癒しを求め需要拡大



エヌピーエフジャパン(株) 千葉工場



OEM商品

スポーツクラブ



健康志向に 応え施設拡充

イーグルスポーツ小山 スタジオ「サヤップ」



海外事業

アジア ~タイ・中国~ 上海日粉総合貿易有限公司 天津全順食品有限公司 ・業務用食材、加工食品の販売 ・プレミックスの 上海日粉食品有限公司 製造・販売 ・プレミックスの製造・販売 ·FSSC22000認証取得 天津 上海金山日粉食品有限公司 ・プレミックスの製造・販売 上海 •2018年10月営業稼働開始 NIPPN(Thailand)Co., Ltd. ・プレミックスの製造・販売 バンコク •FSSC22000、HALAL等の 認証取得 ・タイ国内及び周辺諸国への販路拡大 ・新ライン2018年10月稼働開始(能力1.4倍) Nippon Flour Mills (Thailand) Ltd. ジャカルタ PT. NIPPN FOODS INDONESIA ・プレミックス等の販売

アメリカ

Pasta Montana, L.L.C.

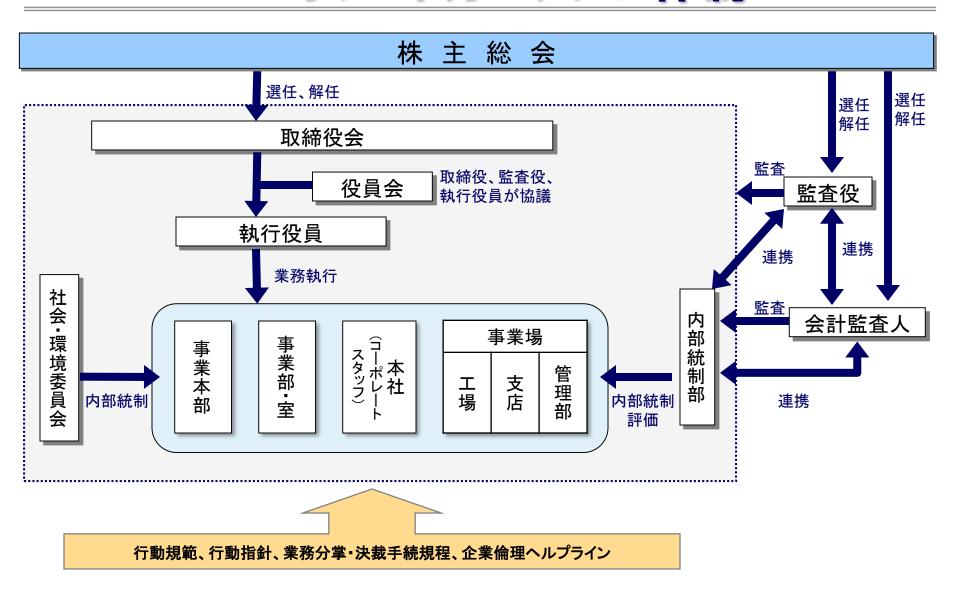
- ・パスタの製造・販売
- ・日本への輸出、米国内の販売
- ・新ライン稼働開始 (能力1.4倍)







コーポレートガバナンス体制





お問合せ先

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、様々な条件・要素によりこの計画や予想数値とは異なる結果になることがあります。この資料はその実現を確約したり、保証するものではございません。

日本製粉株式会社·IR室

TEL 03(3511)5316

FAX 03(3237)3552

